

リビングドア

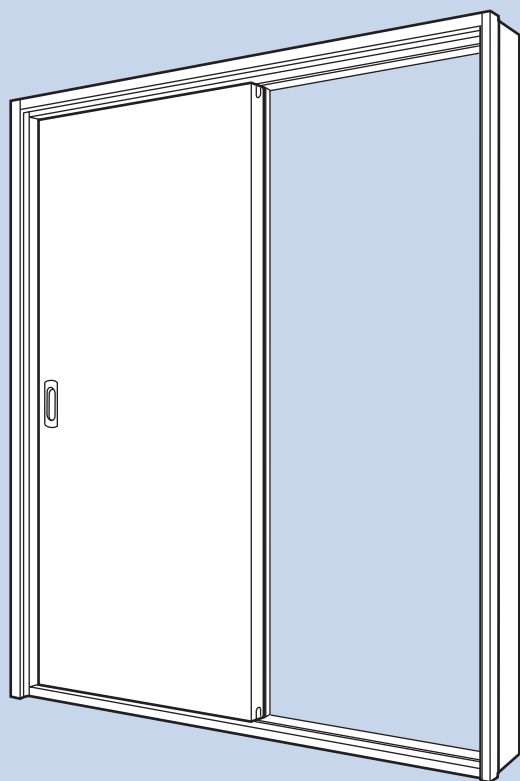
# 音配慮ドア

## 居室タイプ (引戸・片引)

### 施工業者様へ

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。

(取扱説明書は <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロード可能です)





## 要 保 管

この説明書は、扉の吊込や調整方法が記載されておりますので、工事期間中は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。

## もくじ

### 施工説明書

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) .....	1
1. 全体図 .....	2
2. 部材・部品表 .....	2
3. 施工方法 .....	3~9
4. 製品寸法図 .....	10
5. 施工例 .....	11
●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。	
●この説明書に出てくる  ,  マークや <b>お願い</b> は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。	
●梱包材や残材は、法律にしたがって適切に処理してください。	
●本製品はパッキンがあるので一般的なドアと比べて閉鎖時に多少抵抗があります。ご了承ください。	

### 取扱説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) .....	12
2. 使用上のお願い .....	13
3. お手入れのしかた .....	13
4. 調整方法 .....	14

#### ■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドライバー (+2番ビット)
- コンベックス等測定機器
- 水準器
- 丸ノコ
- 手回しドライバー
- 下げ振り

# 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

## 警告表示の種類と内容

	<b>警告</b>	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

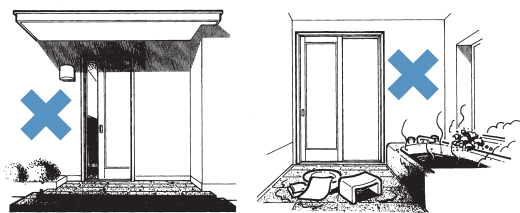
	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
--	-------------	--	----------------	--	-----------------------------

## 施工上のご注意

### 注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工に使用する部品は「現場手配」と明記の無いもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用する</li> <li>・ 扉の上下の戸車が確実にレールにはまっていることを確認する</li> <li>・ 枠、レールの躯体への固定を確実に起こす</li> <li>・ 施工は本説明書にしたがって確実に起こす</li> <li>・ 本引戸は遮音性能を発現させるため、気密性を高めており、24時間換気の通気経路になりません。別途換気経路を確保してください。</li> </ul>
--	---

この引戸は一般住宅用の室内用引戸です。他の用途へのご使用はおやめください。



工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

施工するまで保管するときは、湿気が高い場所や直射日光が当たる場所を避けてください。扉は水平な場所に平積みして保管してください。

工事が完成するまで、製品をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを製品に直接貼らないでください。

沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

照明灯、ストーブなどを近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

本説明書は当社カタログに掲載の標準品に準じた寸法を表示しております。特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。

扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。傷をつけるおそれがあります。

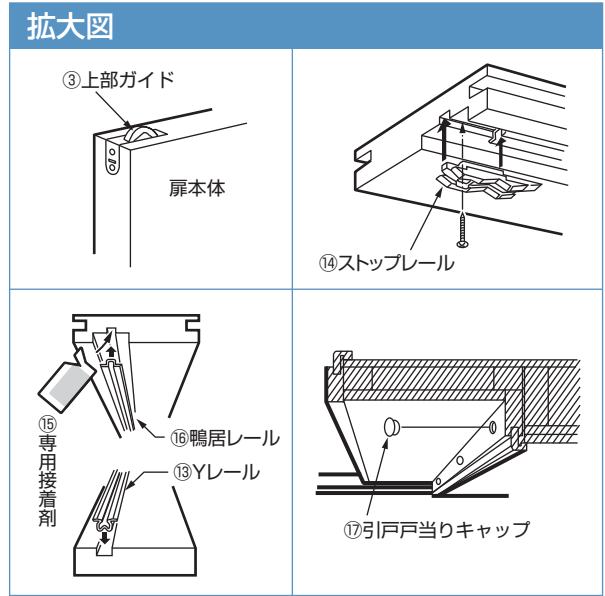
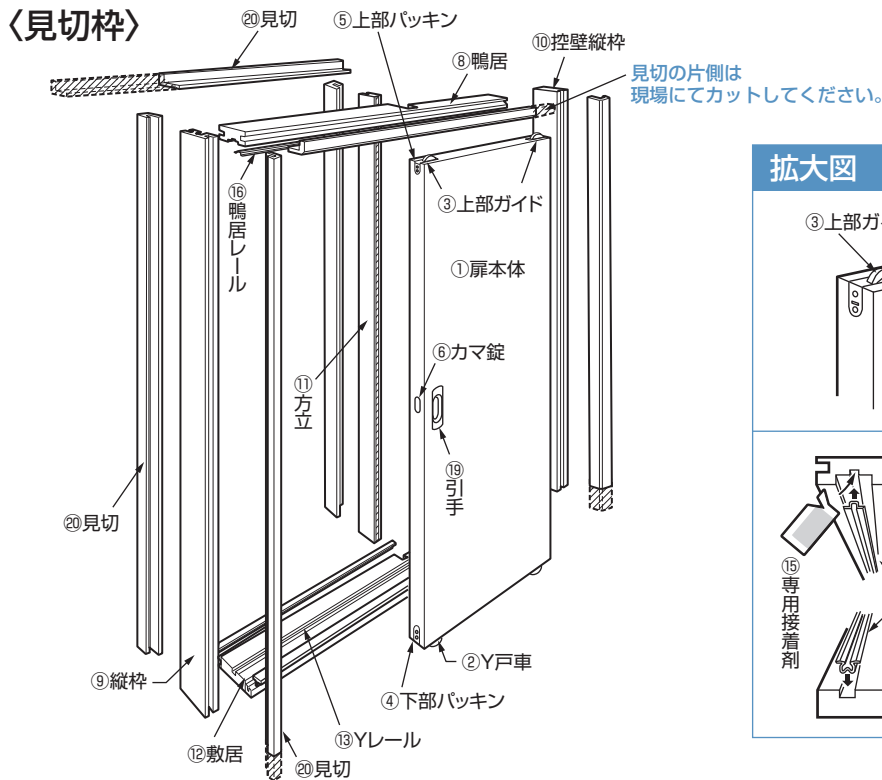


枠の水平・垂直等建付を確認してから取り付けてください。防音性能の劣化や開閉不具合の原因となります。ドアと戸当りのパッキンとの間に隙間が生じる場合は、再度枠の建付を確認して正しく施工してください。





たおれ たいこ つづみ 傾き ねじれ

# 1. 全体図



# 2. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください。)

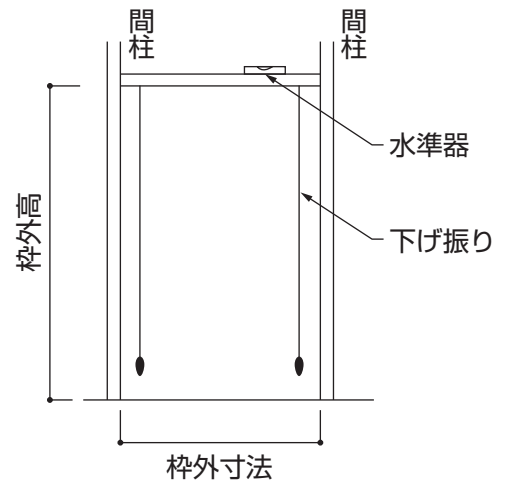
	No	部品名称	数 量	備 考	
扉セット	①	扉本体	1		
	②	Y戸車	2	扉本体に取付済	
	③	上部ガイド	2	扉本体に取付済	
	④	下部パッキン	1	扉本体に取付済	
	⑤	上部パッキン	1	扉本体に取付済	
	⑥	カマ錠	1	扉本体に取付済	
	⑦	カマ錠施錠ピン	1		
枠セット	⑧	鴨居	1	プレカット済	
	⑨	縦枠	1	プレカット済、パッキン取付済	
	⑩	控壁縦枠	1	プレカット済	
	⑪	方立	1	プレカット済、パッキン取付済	
	⑫	敷居	1	プレカット済	
	⑬	Yレール	1		
	⑭	金具セット	枠組立ビス	10	φ4.2×50 
			枠調整ビス	11	φ5.3×55 
			ストップレール	1	
	⑮	専用接着剤	1		
	⑯	鴨居レール	1		
⑰	引戸当りキャップ	8			
⑱	施工説明書・取扱説明	1	必ずお施主様にお渡しください。		
引手セット	⑲	引手	1組	扉に同梱されているピン⑦を使用してください。 (引手に同梱されているピンは使用しません)	
		見切セット	⑳	見切	縦 用 4 横 用 2

**必要梱包** 扉セット+枠セット+カマ錠引手セット+見切セット (計4梱包)

# 3. 施工方法

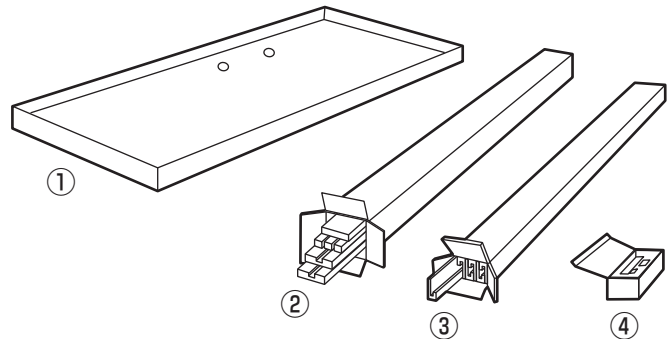
## 準備

開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。  
柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。



梱包を開けて部品を確認してください。

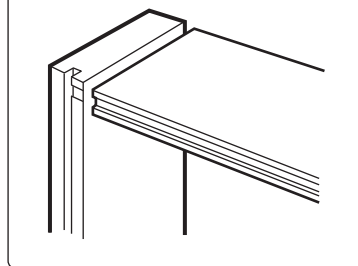
- ①扉セット
- ②枠セット
- ③見切セット
- ④引手（間仕切カマ錠座）セット



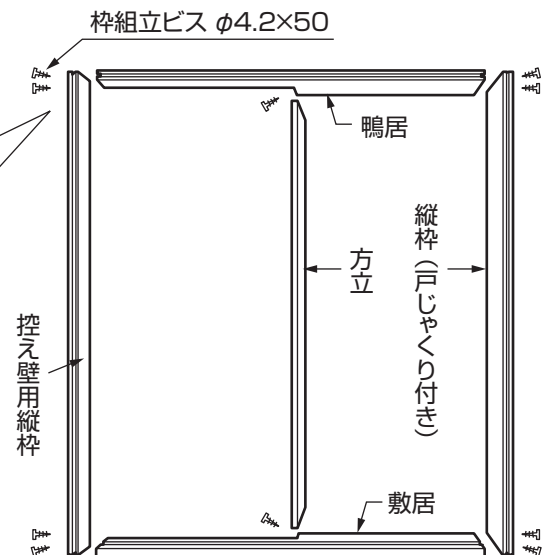
## 施工の前に

右図のように枠を組み立ててください。

控え壁用縦枠の見切溝側と鴨居の見切溝側を揃えてください。

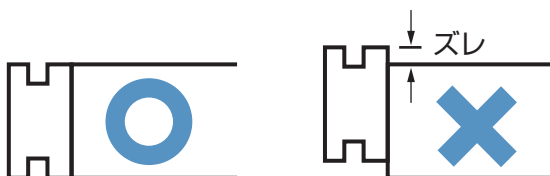


※縦枠は正寸カット済みです。  
組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。



## 見切枠の場合

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。



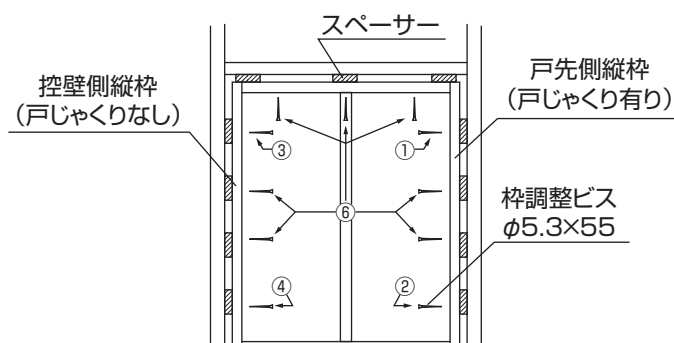
! 縦枠と鴨居・敷居にずれ又は隙間があると音洩れの原因となります。  
十分注意の上、組み立ててください。

## 施工手順

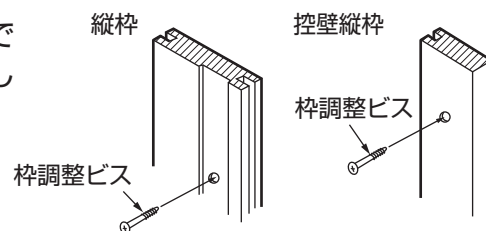
### 1. 開口部への枠の取付

- ① 枠を開口部にはめこんで戸先側縦枠（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。
- ② 下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。
- ③ 水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。
- ④ 下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。
- ⑤ 枠の左右調整は右記の様にしてください。
- ⑥ 枠の前後、左右のたわみがない様に調整して残りの枠調整ビスで本固定してください。

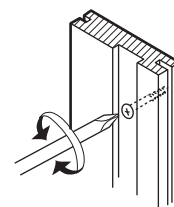
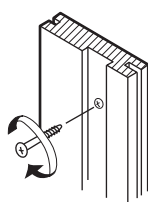
**!** ビス固定する時に下記の点に注意してください。



同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。



#### 枠の調整方法



枠調整ビスを時計方向に回した時  
枠調整ビスを反時計方向に回した時

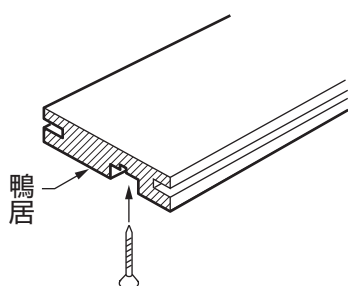
① まず枠調整ビスで枠を固定します。

② 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することができます。

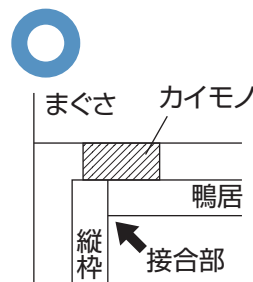
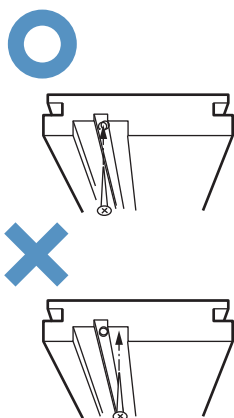


枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

#### 鴨居



鴨居の溝のリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。

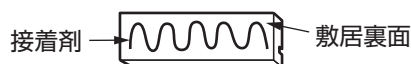


鴨居と縦枠の接合部とまぐさの間に、スキ間ができないよう、カイモノを入れてください。接合部とまぐさの間にカイモノがないと鴨居がもちあがり戸車が脱輪の原因となります。



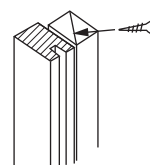
#### 敷居

敷居裏面にウレタン系接着剤を図の様に塗布して施工してください。



#### 方立

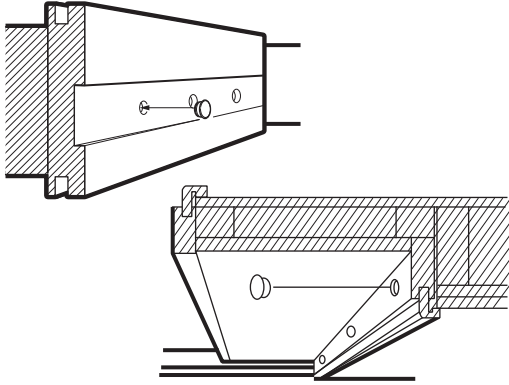
裏面からビス（現場手配）を方立の後からうちこんでください。



# 3. 施工方法 (P.4のつづき)

## 2. 戸当りキャップの取付

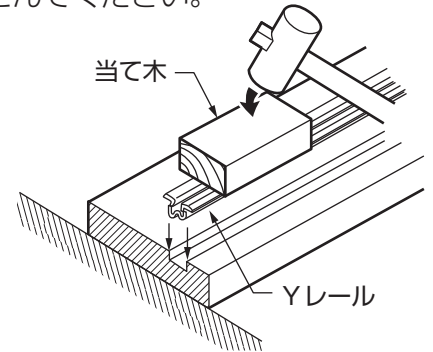
引戸戸当りキャップを縦枠にはめ込んでください。



## 3. Yレールの取付

Yレールは当て木を当ててかなづち等でたたきこんでください。

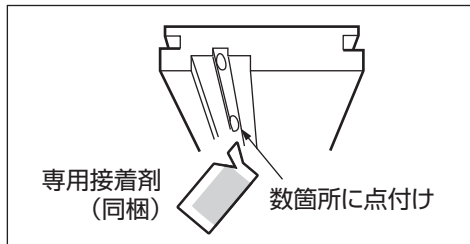
❗ 敷居とレールの隙間がない様にしっかりたたきこんでください。



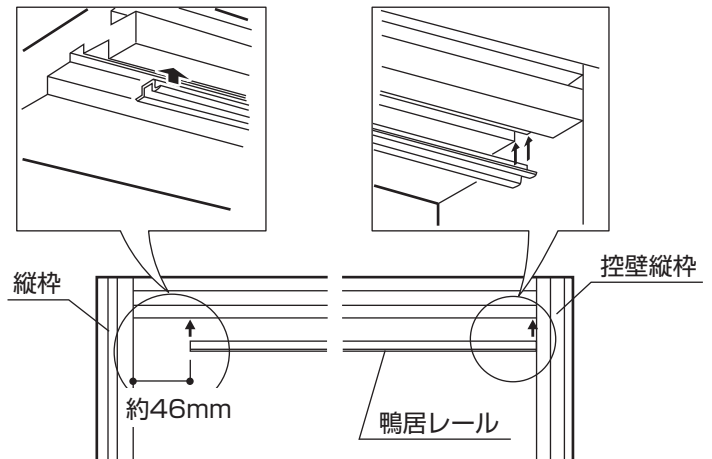
## 4. 鴨居への金具の取付

### ① 鴨居レールの取付

❗ 必ず接着剤を点付けしてください。



### 鴨居レール取り付け位置

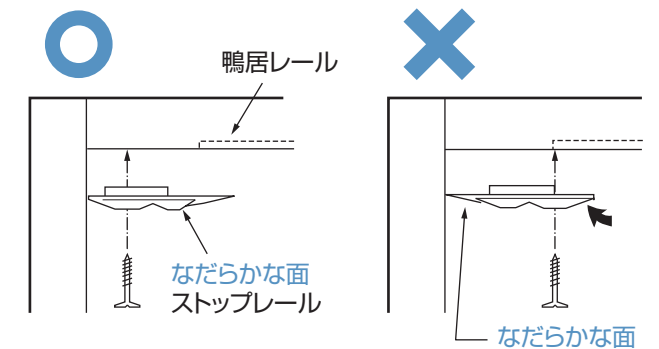
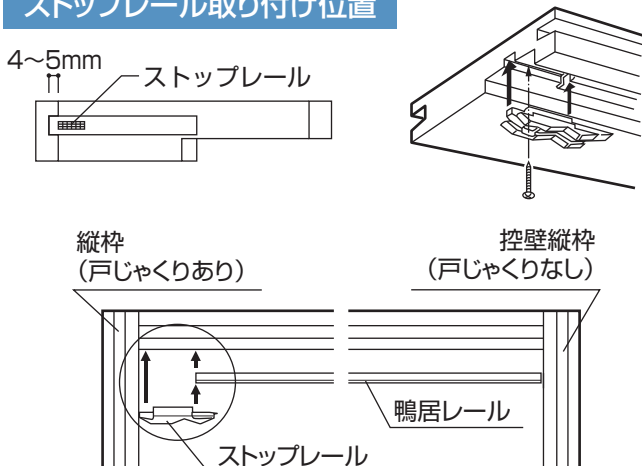


❗ 鴨居レールは溝の奥までしっかりと差し込んでください。

### ② ストップレールの取付

- ・扉が閉まる方向の端に取り付けてください。
- ・下穴部分に同梱のビス (φ5.8×22) で取り付けてください。

### ストップレール取り付け位置



❗ 必ずストップレールの角度の「なだらかな面」を扉の開く方向に向けて取り付けてください。

## 5. 引手の取付

取付方法は引手セット（カマ錠引手セット）同梱の取付説明書をご覧ください。

❗ 必ず扉に同梱している、カマ錠施錠ピンに交換してください。ピンの交換方法は扉に貼付している説明書を参照ください。（ピンを交換しないとカマ錠が施錠出来ません）

## 6. 扉のはめこみ

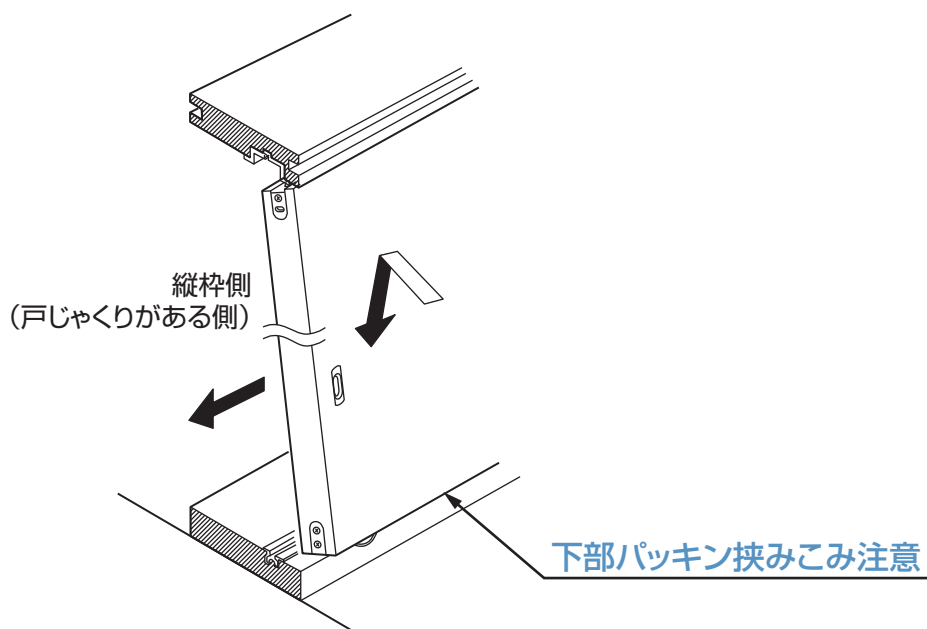
扉をはめこんでください。

※扉の上下及び引手の向きを間違えないようご注意ください。

※扉のはめこみ時に敷居Yレールと下部パッキンがあたり、下部パッキンがYレールに挟みこまれ、パッキンが外れる場合がありますのでご注意ください。

万が一、パッキンが外れたり、上部ガイドや戸車を調整しても開閉に支障がある場合は、扉を一度外し、下部パッキンを再度取付け直してください。

⚠ 扉を梱包をはずした状態で床に直接立てないでください。  
部品を損傷するおそれがあります。



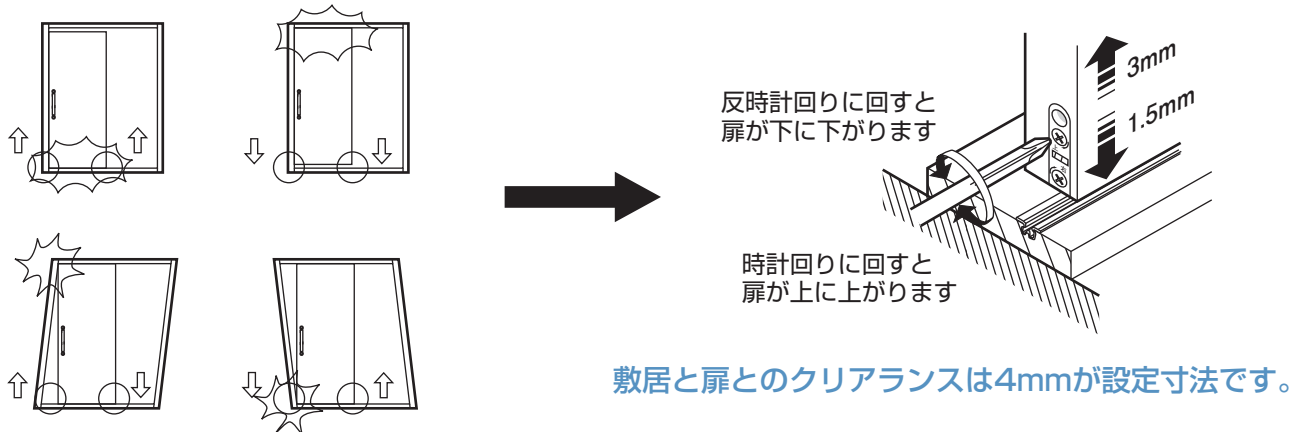
# 3. 施工方法 (P.6のつづき)

## 7. Y戸車・上部ガイドの調整

扉を開閉して、扉が枠と当たる場合は、Y戸車にて扉の傾きを調整してください。

### 上下調整 (調整可能範囲：4.5mm)

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印：  
⇨ の方向に調整してください。

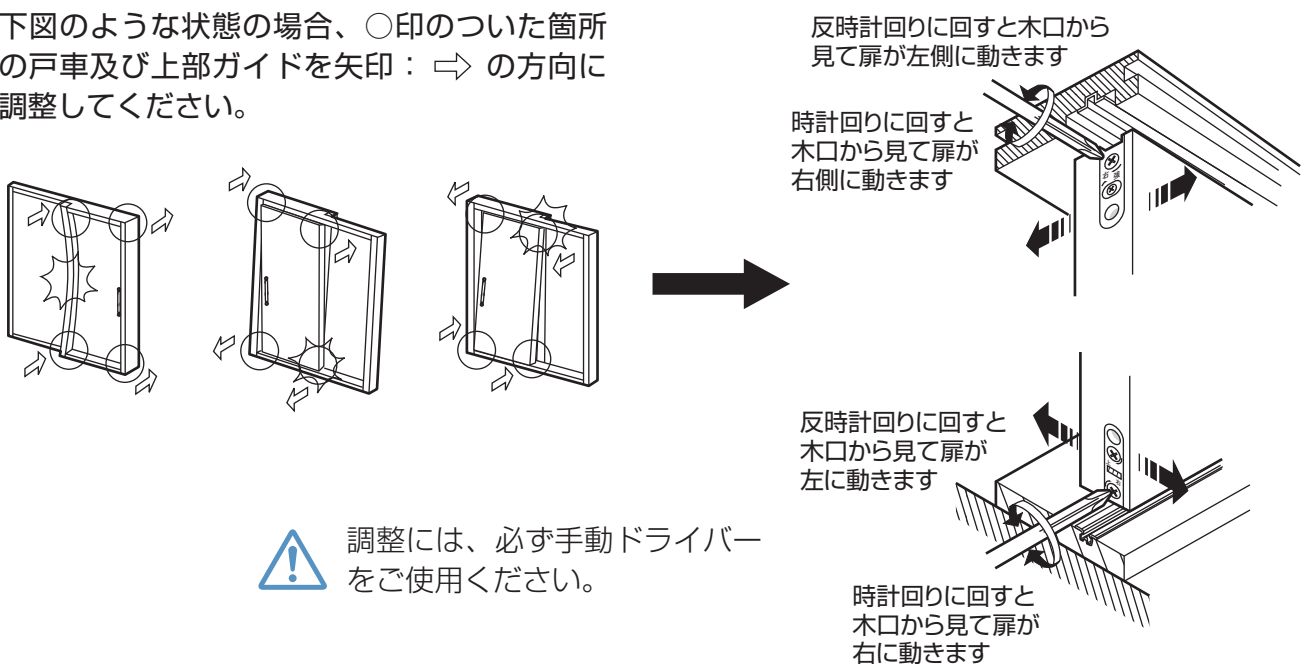


## 8. 左右調整

敷居・鴨居と扉が平行で縦枠・方立のパッキングが扉に接するように左右調整を行ってください。

### 左右調整 (調整可能範囲：4mm)

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車及び上部ガイドを矢印：  
⇨ の方向に調整してください。

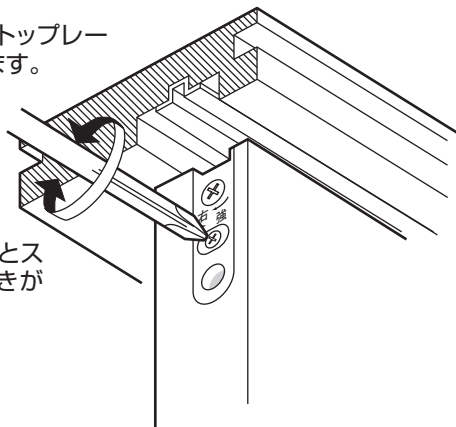


## 9. ストップレールと上部ガイドの調整

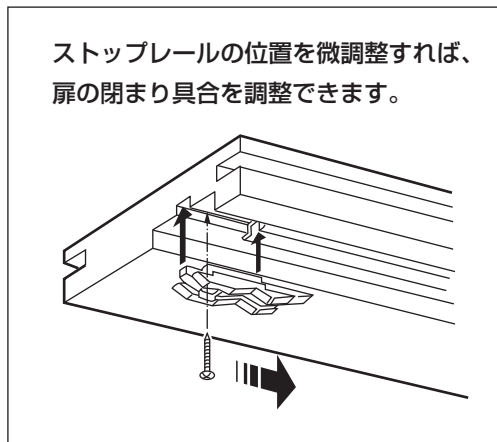
上部ガイドの下のビスでストップレールの効き具合を調整してください。

時計回りに回すとストップレールの効きが強くなります。

反時計回りに回すとストップレールの効きが弱くなります。



ストップレールの位置を微調整すれば、扉の閉まり具合を調整できます。

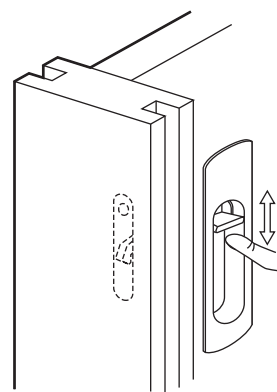


## 10. カマ錠受座の調整

施錠できることを確認してください。

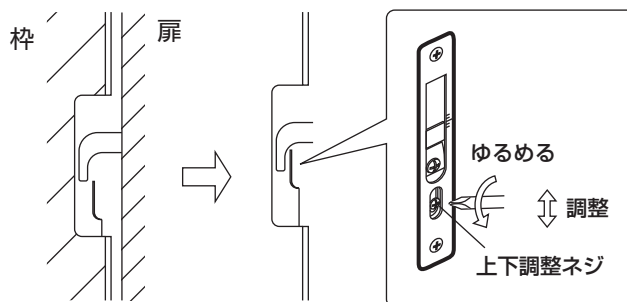
※扉を開けた状態では施錠できません。

施錠が出来ない、しにくい場合は、カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。



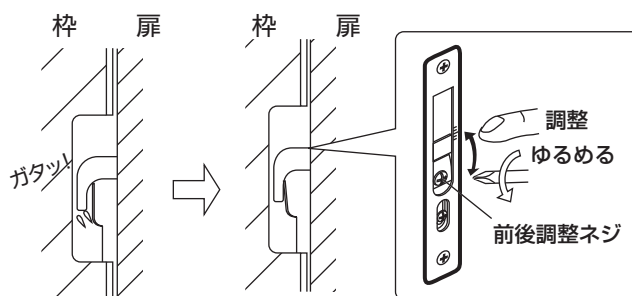
### 上下調整

- ① 上下調整用ネジをゆるめてください。
- ② 適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
- ③ 扉を閉めて施錠し、扉が開かない事を確認してください。
- ④ まだ扉が開く場合は①～③を繰り返し調整してください。



### ガタつき調整

- ① 前後調整用ネジをゆるめてください。
- ② 適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
- ③ 扉を閉めて施錠し、ガタつきのない事を確認してください。
- ④ まだガタつく場合は①～③を繰り返して調整してください。

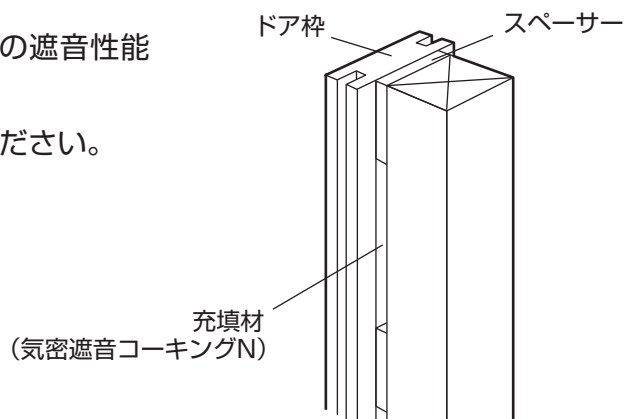


# 3. 施工方法 (P.8のつづき)

## 11. ドア枠と開口部の処理

ドア枠と開口部のすき間があれば音が漏れ、引戸の遮音性能が発揮できません。

すき間を気密遮音コーキングN（別売）で埋めてください。

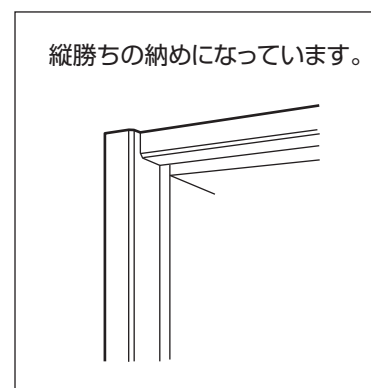
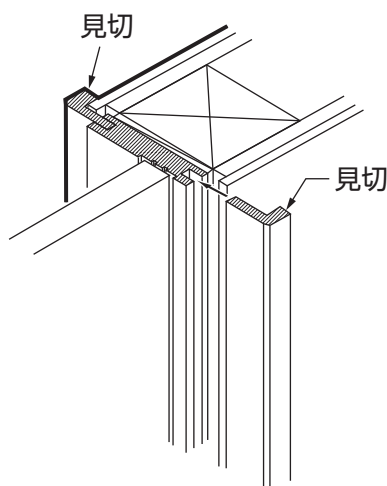


## 12. 見切の取付

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

！ 見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

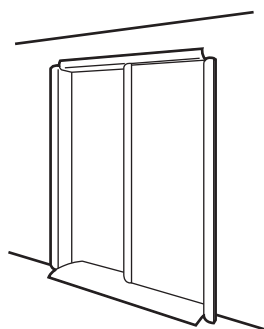
※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。



## 13. 養生

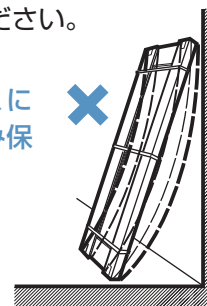
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

その際、接着力の強いテープを敷居に直貼り使用すると塗装がはがれることがありますので、テープを敷居に直接貼らないようにしてください。当社では責任を負いかねます。



※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



！ 養生テープをはがす際は、ドライヤー加温等でゆっくりと剥がしてください。常温でテープを急激に剥がすと、塗装が剥がれる可能性があります。

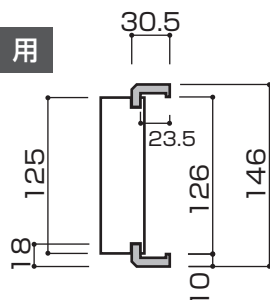
# 4. 製品寸法図

## 壁厚対応

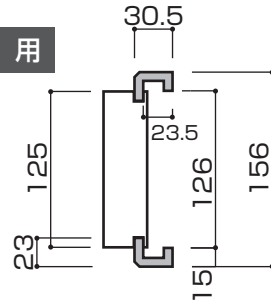
(単位はmm)

### 見切a (シンプル) 壁厚126mm

横用

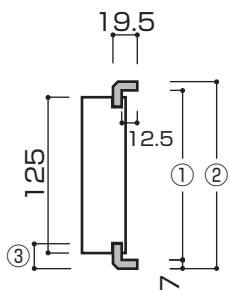


縦用

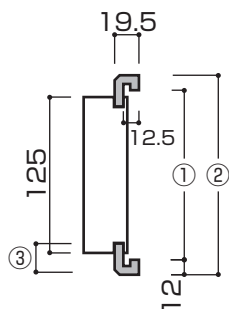


### 見切b~f (シンプル) 壁厚136mm~194mm

横用



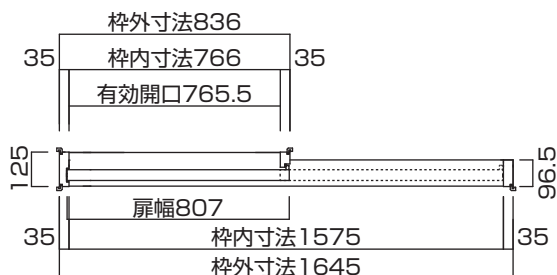
縦用



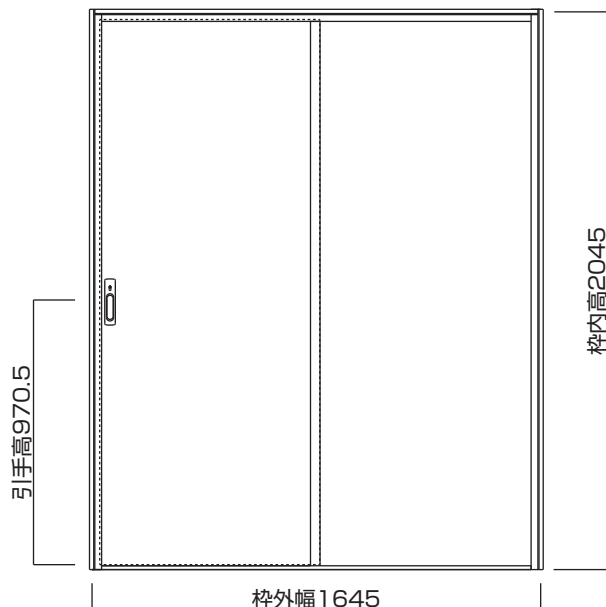
見切	b	c	d	e	f	
①壁厚	136~143	151~158	166~173	178~185	187~194	
②枠外寸	横用	150~157	165~172	180~187	192~199	201~208
	縦用	160~167	175~182	190~197	202~209	211~218
③見切サイズ	横用	20	28	35.5	41.5	46
	縦用	25	33	40.5	46.5	51

※上記にない壁厚は見切をカットして対応ください。

### 平面図



### 正面図 (図は00デザイン)

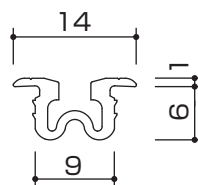


### 側面図

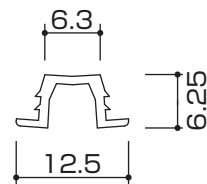


### 部材断面図

#### Yレール



#### 鴨居レール










# 1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

## 警告表示の種類と内容

	<b>警告</b>	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		お願い	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	---	-----	----------------------

## 注意

お願い

扉の開閉は、静かにゆっくり行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落するおそれがあります。

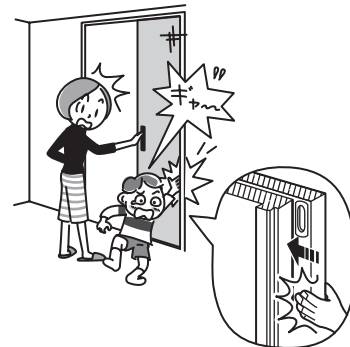




扉を開閉するときは、指をはさまないように注意してください。

扉を開けるときの、扉と枠の間のすき間に指をはさみ、けがをするおそれがあります。

特に乳幼児が単独で開閉操作を行わないよう、また、乳幼児が近くにいる時の扉の開閉に十分ご注意ください。





この製品の分解や改造はしないでください。製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。





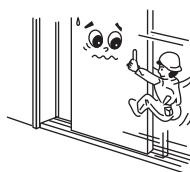
把手にぶら下がったり、扉にもたれかかったり、強い衝撃でぶつかったりしないでください。扉が破損したり、脱落するおそれがあります。





ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶついたりしないでください。

ガラスが割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

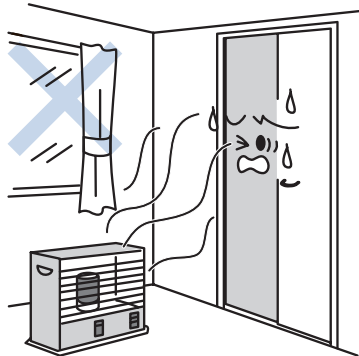




各部のビスがゆるんだまま使用しないでください。部品破損や扉の転倒により、ケガをする原因となります。

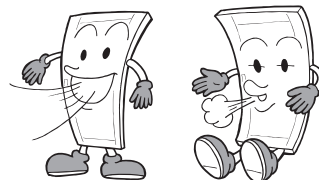
## 2. 使用上のお願い

- ストープなどの熱源を、扉に近づけないでください。  
扉が反ったり、表面がゆがんだりする恐れがあります。



### 木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、ミディアムデンシティファイバーボードなど）を加工して作られたドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、扉の室内側と室外側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



### 「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

- ① エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ② 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と室外側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ③ 扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。  
発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

## 3. お手入れのしかた

### 下レールの溝のお手入れ

掃除機でゴミやホコリを吸いとってください。



- 下レールの溝は、いつもきれいな状態にしておいてください。  
ゴミがつまっていると、扉の走行傷害になります。

### 扉・枠のお手入れ

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。  
鏡面タイプは扉を傷つけない様な布で拭いてください。  
(DIYやカー用品店などで販売している超極細繊維クロス等をご使用ください。)



#### ◆ 汚れを落とすときのご注意

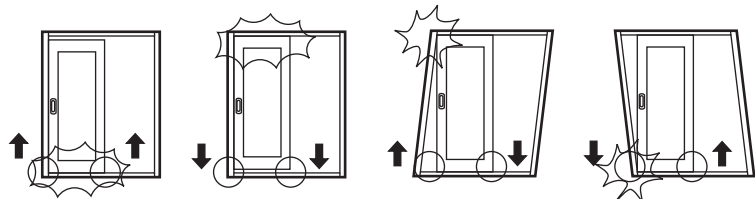
アルコールやシンナー、ベンジンなどを使用しないでください。  
表面のツヤが無くなったり、変色するおそれがあります。

# 4. 調整方法

## 扉を上下・前後に調整する

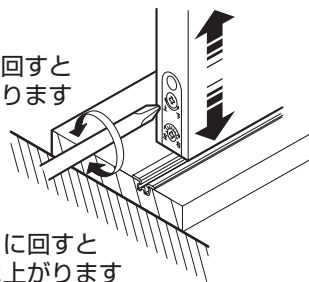
### 上下調整

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印：➡の方向に調整してください。



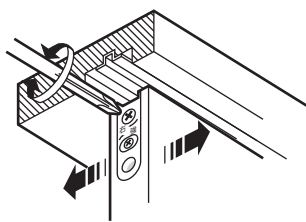
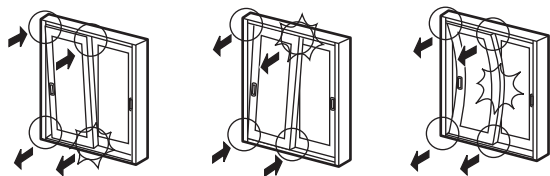
反時計回りに回すと  
扉が下に下がります

時計回りに回すと  
扉が上に上がります



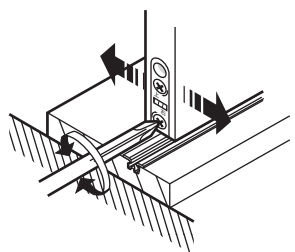
### 前後調整

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印：➡の方向に調整してください。



#### 扉の上側

時計回りにまわすと扉が左に移動します  
反時計回りにまわすと扉が右に移動します



#### 扉の下側

時計回りにまわすと扉が右に移動します  
反時計回りにまわすと扉が左に移動します

## 扉の取り外し、はめこみ

### ■扉の取り外し

- ①扉の両端をしっかりと持ちます。
- ②扉を上突き上げます。
- ③扉の下側を手前に引き、下車をレールから外します。
- ④斜めになった状態で扉を下げ、上部ガイドをレールから外します。



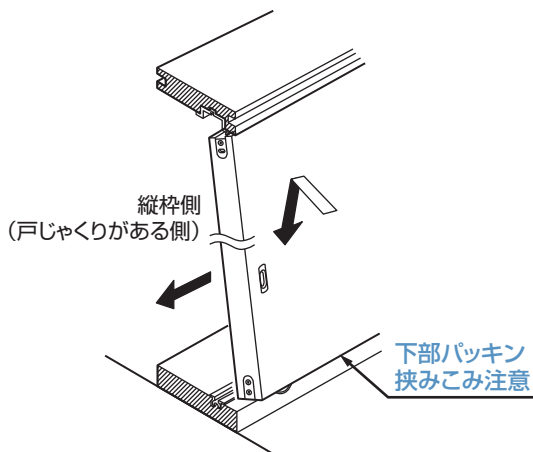
扉の取り外し、はめこみは必ず2人以上で作業してください。

### ■扉のはめこみ

右図のように扉をはめこんでください。  
取り外したときと逆の順序の作業です。

※扉の上下及び引手の向きを間違えないようご注意ください。

※扉のはめこみ時に敷居Yレールと下部パッキンがあたり、下部パッキンがYレールに挟みこまれ、パッキンが外れる場合がありますのでご注意ください。  
万が一、パッキンが外れたり、上部ガイドや戸車を調整しても開閉に支障がある場合は、扉を一度外し、下部パッキンを再度取付け直してください。



## ■定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障がでるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による下記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象	対策
本体（戸車）	扉の開閉がしにくい。 （扉が枠にあたる）	有・無	戸車、レールの変形や破損 扉のガタツキや脱落	戸車がかかりレールにはまっているか確認ください。 戸車の調整により、適正な位置に調整してください。
カマ錠	カマ錠のガタツキがある。	有・無	内部部品が破損して、ドアが開閉できない（閉じ込め）。	ねじが緩んでいるようであれば、ねじをしめ直してください。
カマ錠受け	施錠できない、しにくい。	有・無	カマ錠変形や破損。 内部部品が破損して、ドアが開閉できない（閉じ込め）。	カマ錠受け調整により錠のかかり具合を調整してください。
引手	引手、施錠つまみにガタツキがある	有・無	内部部品が破損して、ドアが開閉できない（閉じ込め）。	ねじが緩んでいるようであれば、ねじをしめ直してください。

※調整方法につきましては、取扱説明書をご参照ください。  
調整実施後に症状が改善されない場合は直ちにご使用を中止し、施工業者様へ連絡してください。

## DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

### ■対象製品

リビングドア 音配慮ドア

### ■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）  
保証期間経過後の修理については有料となります。

### 保証期間一覧表

保証事項	保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象
使用上の著しい支障が生じないこと	扉枠	開閉不良(変形・変質により開口部材としての機能が損なわれる等)
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質(反り、ハガレ、クラック)
		起算時期
		引渡後
		2年

※1:「著しい」の定義  
正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。  
※2:保証期間起算時期について  
保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害  
（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:周辺環境等:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

注意:遮音性能は保証の対象外とします。なお遮音性能は一定の条件下で測定された数値であり、施工現場または居住後における性能を保証するものではありません。

## ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。

製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



## 部品交換・メンテナンス用品のご購入は

DAIKEN パーツショップ

DAIKEN パーツショップ

検索

<https://www.daiken.jp/qr/service/>



## DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス  
<https://www.daiken.jp/>

ご相談窓口における  
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社及びDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシー）にしましては、当社ホームページに掲載しております。尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

## 製品に関するお問合せは

お客様センター

0120-787-505

受付時間:平日9:00~17:00  
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)

総合カタログに掲載していない製品は、ご提案のあった工事店様や販売店様を通して、弊社営業窓口にお問い合わせください。

よくあるご質問、施工・取扱説明書情報、カタログのご請求・閲覧などはお客センターからもご確認いただけます。

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>



メールで写真も  
送ることができます。

## 防音・音響仕様のお問合せは

サウンドセンター

東京 TEL (03) 6271-7785 大阪 TEL (06) 6205-7245

受付時間:平日10:00~17:00  
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)